

平成27年1月26日(月)

老球の細道107号

言葉との出会い

会津バスケットボール協会理事長 室井 富仁

人生は出会いの連続である。また、出会いは様々である。人との出会い、映画との出会い、音楽との出会い、本との出会い、そして言葉との出会い。琴線に触れる色々な出会いをしたいものである。

今は昔、男子の練習試合惨敗でうちひしがれていた時、朝日新聞の広告コピーが目に入った。これぞまさに言葉との出会いと、わがアンテナが受信した。どこかの手帳会社の広告であった。出会いは、思いがけない時、思いがけないところに転がっている。

「夢や目標を本気で目指すと、すべてが変わる。

運は誰にでも流れている。それをつかむか、つかまないかだ。

明日死ぬと思って今やれることをやり尽くす。

それでダメなら仕方がない。その開き直りが自信につながる。

ここまでダッシュと思ったら、最後まで全力で走る。

1メートル手前で力を抜いたせいで負けることもある。

プレッシャーは重力のようなもの。重力がないと

筋肉も骨もだめになる。重力があるから自分が強くなる。

人にどう思われてもいい。日本中の人に批判されてもいい。

最後に家族が信じてくれればそれでいい。

スランプや失敗が続いても、調子が良かった過去を振り返ってはいけない。

今つまづいているのは、もっと高い場所に行こうとしているからだ。

本当にどうしようもない状況に陥ったら、こう思う。

ここが分かれ道だと。ここで投げ出すか、踏ん張れるかだと。

どん底に落ちてはじめて気づくこともある。

危ない危ないと言ってリスクを避けてばかりの社会は、人の生きる力を弱めている。

夢なんてなんだっていい。どんなに小さなことだっていい。

その一歩で、また次の夢が見えてくる。

まずは一歩を踏み出すことだ」

元古川商業バレーボール監督・国分秀男氏の講演会での言葉。

「言葉は意識を変え、意識は行動を変え、行動は結果を変えるのです」